

大同関係をマスターするコツについて  
法学（S38卒） 國武信義

「人間関係に悩む」というのは現代の世相に関連する問題点です。市販されているPHP 1月号増刊号V.O.12「一緒にいて楽しい人、つまらない人」で、著名な方の叢智を集積した「コツ」が紹介されています。「人間関係は学問と違い習性だから、それが判って果たし身につくものだろうか」というささやかな疑問が私にわきました。本誌の最後に「生きる」と題する5名の記事が掲載されています。この中で、「新人研修」秋田知子氏の記述は、とりわけ自己の体験談として感動と涙がこぼれる感銘を受ける試練を超越した結果が克明に記され印象的な記事でした。筆者は、商業高校時代コンピュータ嫌いで努めて避けてきた。就職で「一般事務」を志望して、採用され、両親の見送りを受けて上京し、2・3日の新人研修で配置が決まったら、「OA事業部システム課」コンピュータのプログラマーという一般事務とは場違いの苦手の職種であり、目の前が真っ暗になった。待っていたのはメーカー側主催の、「代理店新人社員のためのシステム研修」2週間に参加することだった。研修に行くまでの数日間、新婚間もない先輩の一人から最低の基礎知識を教えてもらった。先輩はとても人間的に尊敬できる人で、後々良い影響を受け、仕事に対する意欲と責任を教えてもらった。初めての東京で、宿を探すのに戸惑い、頼った人の助言で交番でお世話になり、泣きそうな気持ちで探し当てた宿で、他の代理店の新人10人と合流した。研修が始まったが、講師のいうことがさっぱりわからない。両親や友人に電話で愚痴をこぼした。両親は慰めてがんばれと励ましてくれた。友人から「あまり親に心配をかけるな」と諭された。それでも自分だけがつらいと思っていた。母からの荷物に一生懸命励ました（母からも

らった初めての）1通の手紙があった。泣けてきた。

実母を亡くして8ヵ月から、自分を育ててくれた血のつながりのない母だった。母は私に電話口でいつも明るい声で励ましていてくれたが、電話をかけた後、布団の中で私がかわいそうと泣いていたことを後で父から聞いた。血のつながりを気にして反抗期もあったが、母は変わりなく母だった。最初の1週間は長く感じた。友達もできて後半の1週間はスムーズに過ぎ研修は終わった。これまで周囲の人に寄りかかってぬくぬくとしていた私に、研修は初めての試練と困難の場だった。「可愛い子には旅をさせ」の両親愛情・惜しみない先輩の親身の指導・その他の多くの人に支えられた新人研修は人間研修の始まりだった。この間、いろんなことを感じ、学び、考えることができた。この2週間があったからこそ、その後の多くの困難・試練にも立ち向かえたし、頑張ることができたと思う。それにいつの間にかあれほど嫌いなコンピュータの仕事が好きになった。あれから8年、私も2児の母となった。私か二人の子供を支える番になった。私も母のようになれるだろうか。人間研修はまだまだ続いてゆく。(PHP 2017年1月増刊号の記事を要約)

回顧

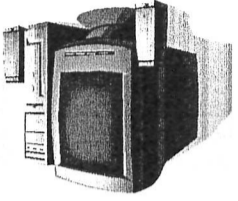
国文S62年卒  
永村 時生 92歳  
晩学と思ひて卒へし大學も三十年の月日(つきひ)流るる

S62年部報五月号：所載：『卒業生の感想文』より転載：※(指名による投稿文)  
文理学部(文学専攻・国文学)  
永村 時生 62歳  
NHK学園高校 S42年卒  
熊本県

昭和42年当時のスクーリングのネットが解消していることを知り、58年に入学の夢を果たすことが出来た。大学の門を叩けるなんて私たちの少年時代には、夢にさえ見ることはありませんでした。若き日は夢のまた夢今ここに学べる時のめぐり来たりて

学習を続ける中に学問の厳しさの現実に、戸惑うこともありましたが、少年時代からの座右銘「足らざるを知るは進歩なり」の言葉が、いつも私の心の支えになってくれました。苦しき時には遇ふことあれど知る喜びはそれを超えゆく

人間関係は「単なるテクニクではなく」、人として耐え抜き、自分が自分を磨くことでしか達成できないという「立ち位置と心に関する体験から得られるもの」と解するのが、ここで私が引用した目的です 以上



近況報告

欠席者の返信はがきより  
板垣 泰人  
今回は仕事で出席できませんが、次回は出席したいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

入院中です。

飯銅 智晴  
お世話になっております。参加できませんが、ご盛会をお祈り申し上げます。

田口 正寿  
今回は残念ながら欠席いたしました。近く家解体予定です。震災による公費解体(半壊認定)家が傾いています。危険ですので再出発できた時は改めて連絡させていただきます。皆さんによりよくお伝えくださいませ。

齋藤 生男  
お詫び  
例年楽しみにしておりましたが、今回、私の都合(校区老クラブ総会)で出席できなくなりました。4月16日は校区老人クラブの総会を計画しており、変更できなくなりました。この外、町老人クラブ会長、年金受給者植木部会会長、町内自治会長の役職に在り、85歳の老体をフル活用して頑張っております。

中島 輝男  
29年度の会費2,000円を振り込みました。ご査納ください。

高宮 優香  
せつかくお誘ひいただき、誠に申し訳ありません。

谷川 洋子  
長い間お世話になりました。今年で脱会したいとおもいますので、よろしくお願ひいたします。

馬場 博  
会長によりよくお伝えください。

志賀 徳子  
〒869-2225  
阿蘇市黒川1044  
住所変更の連絡がありました。(事務局)

祝

卒業

平成29年3月卒業生

アベクロン 富田 桂子  
文理学部 (英)

井之上 裕敬  
商学部 (商業)

編集後記

毎日、極暑の中いかがお過ごしでしょうか。パソコン操作に慣れてない私。日本の校友と四苦八苦しながら悪戦苦闘してようやく第二三号発行の運びになりました。校友会員の皆様の協力があったからこそ、機関紙の発行に至りますので、ご寄稿をよろしくお願ひいたします。暑い中お体には十分お気を付けてお過ごしくださいませ。

